第 31号 議 案

令和元年9月19日任 用 給 与 課

東京都規則等の一部改正について(給与関係)

下記の東京都規則等の一部改正について、申請(別添)のとおり承認する。

記

- 1 職員の期末手当に関する規則の一部を改正する規則
- 2 学校職員の期末手当に関する規則の一部を改正する規則
- 3 職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則
- 4 学校職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則
- 5 非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例施行規則の一部を改正する規則の一部を改正する規則

1 職員の期末手当に関する規則の一部を改正する規則

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法 律の施行による地方公務員法の改正に伴い、所要の改正を行う。

- -	
項 目 該 当 条 文	内
支給対象外職員 第2条第2項第3号	【地方公務員法の改正に伴う規定整備】 職員の給与に関する条例第21条第1項から欠格条項に係る規定が削除 されることに伴い、除外規定を削除
施 行 期 日 附則	令和元年 12 月 14 日

2 学校職員の期末手当に関する規則の一部を改正する規則

「1」と同様の改正を行う。

3 職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法 律の施行による地方公務員法の改正に伴い、所要の改正を行う。

項 目 該 当 条 文	内
支給対象外職員 第2条第2項第3号	【地方公務員法の改正に伴う規定整備】 職員の給与に関する条例第21条の2第1項から欠格条項に係る規定が 削除されることに伴い、除外規定を削除
施 行 期 日 附則	令和元年 12 月 14 日

4 学校職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則

「3」と同様の改正を行う。

5 非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例施行規則の一部を改正する 規則の一部を改正する規則

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行による地方公務員法の改正等に伴い、所要の改正を行う。

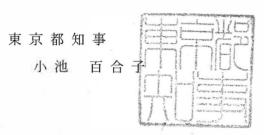
項 目 該 当 条 文	内 容
期末手当の 支給対象外職員 第17条第2項第1号 第3号	【基準日前1か月以内に退職等をした職員で期末手当支給対象外となる者】 任用期間が通算6か月に満たない者を追加 【地方公務員法の改正に伴う規定整備】 改正後の非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例第5条第1項から 欠格条項に係る規定が削除されることに伴い、除外規定を削除
文 言 整 備	【文言整備】
改正規則附則	「 <u>平成 32 年</u> 4 月 1 日」→「 <u>令和 2 年</u> 4 月 1 日」
施 行 期 日	令和元年 12 月 14 日
附則	第 17 条第 2 項第 1 号及び附則の改正規定は公布の日





31 総人制第 353 号 令和元年 9 月 13 日

東京都人事委員会 殿



職員の期末手当に関する規則等の一部改正について(申請)

このことについて、成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律(令和元年法律第37号)の施行による地方公務員法(昭和25年法律第261号)の一部改正に伴い、下記のとおり規則の改正を行う必要があるため、改正後の職員の給与に関する条例(昭和26年東京都条例第75号)第21条第5項及び第21条の2第4項に基づき、承認を申請します。

記

1 改正する規則

- (1) 職員の期末手当に関する規則(昭和43年東京都規則第120号)
- (2) 職員の勤勉手当に関する規則(昭和54年東京都規則第28号)

2 改正理由

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行による地方公務員法の一部改正に伴い、規定を整備する必要があるため。

.3 改正文

別添のとおり



31 教 人 勤 第 178 号 令 和 元 年 9 月 12日

東京都人事委員会 殿



学校職員の期末手当に関する規則の改正等について (申請)

このことについて、成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律(令和元年法律第37号)の施行による地方公務員法(昭和25年法律第261号)の一部改正に伴い、別紙のとおり諸規定を整備する必要があるので、改正後の学校職員の給与に関する条例(昭和31年東京都条例第68号)第24条第5項等の規定に基づき承認方申請します。



名 称	番号	根拠規定	備考
学校職員の期末手当に関する規則の一 部を改正する規則	教委規則 第 号	学校職員の給与に関する条例第24条第 5項	承認申請
学校職員の勤勉手当に関する規則の一 部を改正する規則		学校職員の給与に関する条例第24条の 2第4項	承認申請

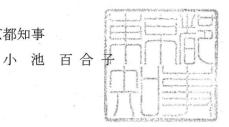




31総人制第353号 令和元年9月13日

東京都人事委員会

東京都知事



非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例施行規則の一部を改正する規則の 一部改正について (申請)

このことについて、成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律 の整備に関する法律(令和元年法律第37号)の施行による地方公務員法(昭和25年法律第2 61号)の改正等に伴い、改正後の非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例(昭和31年東 京都条例第56号)[非常勤職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例]に基づき、承認方 申請します。

記

1 改正する規則

非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例施行規則の一部を改正する規則

2 改正の理由

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する 法律(令和元年法律第37号)の施行による地方公務員法(昭和25年法律第261号)の 改正等に伴い所要の改正を行う必要があるため

3 改正案文

別添のとおり

規則改正案文一覧

~ 目 次 ~

- 1 職員の期末手当に関する規則の一部を改正する規則(2頁)
- 2 学校職員の期末手当に関する規則の一部を改正する規則(3頁)
- 3 職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則(5頁)
- 4 学校職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則(6頁)
- 5 非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例施行規則の一部を改正する規則の一部を改正 する規則(8頁)

職 員 \mathcal{O} 期 末 手 当 に 関 す る 規 則 \mathcal{O} _ 部 を 改 正 す る 規 則

うに改正する。

職

員

 \mathcal{O}

期

末

手

当

に

関

す

る

規

則

昭

和

兀

+

 \equiv

年

東

京

都

規

則

第百

+

号)

の 一

部を次

0)

ょ

削

る。

第 _ 条 第 項 第 三 号 中「(法 第 + 六 条 第 _ 뭉 に 該 当 L て 失 職 L た 職 員 を 除 く。)」を

附則

٢ \mathcal{O} 規 則 は ` 令 和 元 年 + = 月 + 兀 日 か 5 施 行 す る

学 校 職 員 \mathcal{O} 期 末 手 当 に 関 す る 規 則 の 一 部 を 改 正 す る 規 則 を 公 布 す る。

和 元 年 月

令

日

東 京 都 教 育 委 員 会

3

●東京都教育委員会規則第

号

学 校 職 員 \bigcirc 期 末 手 当 に 関 す る 規 則 \mathcal{O} 部 を 改 正 す る 規 則

学 校 職 員 \mathcal{O} 期 末 手 当 に 関 す る 規 則 昭 和 兀 + 三 年 東 京 都 教 育 委 員 会 規 則 第 兀 +

号)の一部を次のように改正する。

第 <u>-</u> 条 第 <u>-</u> 項 第 三 뭉 中 \neg 法 第 + 六 条 第 뭉 に 該 当 L て 失 職 し た 職 員 を 除 <

削 る 。

を

附則

 $\sum_{}$ \mathcal{O} 規 則 は 令 和 元 年 + 月 +兀 日 か 5 施 行 す る。

職 員 \mathcal{O} 勤 勉 手 当 に 関 す る 規 則 \mathcal{O} _ 部 を 改 正 す る 規 則

うに改正する。

職

員

 \mathcal{O}

勤

勉

手

当

に

関

す

る

規

則

昭

和

五.

+

兀

年

東

京

都

規

則

第

十八

号)

の 一

部を次

0)

ょ

る。

第 _ 条 第 項 第 三 뭉 中「(法 第 + 六 条 第 뭉 に 該 当 L て 失 職 L た 職 員 を 除 く。)」を 削

附則

٢ \mathcal{O} 規 則 は ` 令 和 元 年 + _ 月 + 兀 日 か 5 施 行 す る

学 校 職 員 \mathcal{O} 勤 勉 手 当 に 関 す る 規 則 の 一 部 を 改 正 す る 規 則 を 公 布 す る。

元 年 月

令

和

日

東 京 都 教 育 委 員 会

●東京都教育委員会規則第

学 校 職 員 \mathcal{O} 勤 勉 手 当 に 関 す る 規 則 \mathcal{O} _ 部 を 改 正 す る

規

則

号

学 校 職 員 \bigcirc 勤 勉 手 当 に 関 す る 規 則 $\overline{}$ 昭 和 五. + 兀 年 東 京 都 教 育 委 員 会 規 則 第 + 六 号

の一部を次のように改正する。

第 <u>-</u> 条 第 項 第 \equiv 号 中 \neg 法 第 +六 条 第 号 に 該 当 L て 失 職 L た 職 員 を 除 <

附

則

を

削

る。

 $\sum_{}$ \mathcal{O} 規 則 は 令 和 元 年 +<u>-</u> 月 +兀 日 か 5 施 行 す

る。

非 常 勤 職 員 \mathcal{O} 報 酬 及 び 費 用 弁 償 に 関 す る 条 例 施 行 規 則 \mathcal{O} _ 部 を 改 正 す る 規

則 \mathcal{O} 部 を 改 正 す る 規 則

+年 非 常 東 京 勤 都 職 規 員 則 \mathcal{O} 第 報 酬 百 五. 及 + \mathcal{U} 七 費 号 用 弁 償 \mathcal{O} に 部 関 を す る 次 条 \mathcal{O} 例 施 に 行 改 規 正 則 す \mathcal{O} 部 を 改 正 す る 規 則 平 成 \equiv

ょ

う

る

第 +七 条 \mathcal{O} 改 正 規 定 \mathcal{O} う 5 同 条 第 項 第 号 中 前 項 第 兀 号 を 前 項 第 号 第 兀

附 則 中 平 成 三 + 年 兀 月 日 を 令 和 年 几 月 日 に 改 め る。

附 則 号

に

改

 \Diamond

同

項

第

三

号

中

法

第

+

六

条

第

号

に

該

当

L

て

失

職

L

た

者

を

除

<

を

削 る

5 $\sum_{}$ 同 条 \mathcal{O} 第 規 則 は 項 第 令 号 和 \mathcal{O} 元 改 年 正 + \equiv 規 定 月 及 十 び 兀 附 日 則 か 5 \mathcal{O} 改 施 正 行 規 す 定 る は た だ 公 布 L \mathcal{O} 日 第 + カ 5 七 施 条 行 \mathcal{O} す 改 る 正 規 定 \mathcal{O} う

規則改正新旧対照表

~ 目 次 ~

- 1 職員の期末手当に関する規則の一部を改正する規則(2頁)
- 2 学校職員の期末手当に関する規則の一部を改正する規則(3頁)
- 3 職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則(4頁)
- 4 学校職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則(5頁)
- 5 非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例施行規則の一部を改正する規則(6頁)

改正案	現行
第一条 (現行のとおり)	第一条(略)
(支給対象外職員)	(支給対象外職員)
第二条 (現行のとおり)	第二条 (略)
2 (現行のとおり)	2 (略)
一及び二 (現行のとおり)	
三 法第二十八条第四項の規定により職を失つた職員	三 法第二十八条第四項の規定により職を失つた職員 (法第十六条第一号
	に該当して失職した職員を除く。)
四から七まで(現行のとおり)	四から七まで(略)
第二条の二から第九条まで (現行のとおり)	第二条の二から第九条まで (略)
別表第一及び別表第二 (現行のとおり)	別表第一及び別表第二 (略)
別記第一号様式から第三号様式まで (現行のとおり)	別記第一号様式から第三号様式まで (略)

学校職員の期末手当に関する規則(昭和四十三年東京都教育委員会規則第四十二号)新旧対照表(抄)

改正案	現行
第一条 (現行のとおり)	第一条 (略)
(支給対象外職員)	(支給対象外職員)
第二条 (現行のとおり)	第二条 (略)
2 (現行のとおり)	2 (略)
一及び二 (現行のとおり)	一及び二(略)
三 法第二十八条第四項の規定により職を失つた職員	三 法第二十八条第四項の規定により職を失つた職員 (法第十六
	条第一号に該当して失職した職員を除く。)
四から七まで(現行のとおり)	四から七まで(略)
第二条の二から第九条まで (現行のとおり)	第二条の二から第九条まで(略)
別表第一及び別表第二 (現行のとおり)	別表第一及び別表第二(略)
別記第一号様式から第三号様式まで (現行のとおり)	別記第一号様式から第三号様式まで(略)

職員の勤勉手当に関する規則(昭和五十四年東京都規則第二十八号) 新旧対昭	新旧対照表(抄)
改正案	現行
第一条 (現行のとおり)	第一条 (略)
(支給対象外職員)	(支給対象外職員)
第二条 (現行のとおり)	第二条 (略)
2 (現行のとおり)	2 (略)
一及び二 (現行のとおり)	一 及び二 (略)
三 法第二十八条第四項の規定により職を失つた職員	三 法第二十八条第四項の規定により職を失つた職員 (法第十六条第一号
	に該当して失職した職員を除く。)
四から七まで(現行のとおり)	四から七まで(略)
第二条の二から第九条まで (現行のとおり)	第二条の二から第九条まで (略)
別表第一及び別表第二 (現行のとおり)	別表第一及び別表第二(略)

学校職員の勤勉手当に関する規則(昭和五十四年東京都教育委員会規則第
十六号)
新旧対照表
(抄)
(抄)

改正案	現行
第一条 (現行のとおり)	第一条 (略)
(支給対象外職員)	(支給対象外職員)
第二条 (現行のとおり)	第二条 (略)
2 (現行のとおり)	2 (略)
一及び二 (現行のとおり)	一及び二(略)
三 法第二十八条第四項の規定により職を失つた職員	三 法第二十八条第四項の規定により職を失つた職員 (法第十六
	条第一号に該当して失職した職員を除く。)
四から七まで(現行のとおり)	四から七まで(略)
第二条の二から第九条まで (現行のとおり)	第二条の二から第九条まで(略)
別表第一から別表第三まで (現行のとおり)	別表第一から別表第三まで(略)

第十七条を次のように改める。	第十七条を次のように改める。 題名及び第一条から第十六条までの改正規定 (略) 現 行 収三十年東京都規則第百五十七号)新旧対照表(抄)
(期末手当の支給対象外職員)	(期末手当の支給対象外職員)
第十七条 (現行のとおり)	第十七条 (略)
2 (現行のとおり)	2 (略)
一 退職し、若しくは失職し、又は死亡した日において前項第一号、第四号	一 退職し、若しくは失職し、又は死亡した日において前項第四号から第七
から第七号まで又は第九号のいずれかに該当した者	号まで又は第九号のいずれかに該当した者
二 (現行のとおり)	二(略)
三 法第二十八条第四項の規定により職を失った者	三 法第二十八条第四項の規定により職を失った者 (法第十六条第一号に該
	当して失職した者を除く。)
四及び五 (現行のとおり)	四及び五(略)
第十八条から第二十四条まで及び附則の改正規定 (現行のとおり)	第十八条から第二十四条まで及び附則の改正規定 (略)
附則	附 則
この規則は、令和二年四月一日から施行する。ただし、第六条第二項ただし	この規則は、平成三十二年四月一日から施行する。ただし、第六条第二項た
書及び附則の改正規定は、平成三十一年四月一日から施行する。	だし書及び附則の改正規定は、平成三十一年四月一日から施行する。